

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
1	松本 譲二	質問事項 令和9年3月閉校予定、谷和原中学校施設の有効利用について 質問要旨 令和9年4月、みらい平地区に新設する中学校の開校に伴い、谷和原中学校は令和9年3月に閉校する予定となっている。 1 地域の方々を含め、市民からは「閉校後の施設を、地域コミュニティの場や子どもの居場所、スポーツ・芸術活動の場として活用してほしい」との切実な声が多数寄せられている。 このような現状を踏まえ、閉校後の谷和原中学校施設の有効利用について、現時点で具体的に予定されていることがあるのか、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
2	小林 芳子	質問事項 公共施設里親制度について 質問要旨 公共施設里親制度は、「行政任せ」から「地域と行政の協働」への転換を促す取組の一つである。本市でも、公共施設里親制度を導入し、地域の皆さんによる清掃や花壇の除草等、ボランティアによる環境美化活動が各地域で行われている。このような取組は、行政の負担軽減だけでなく、地域の絆づくりや、愛着の醸成にも繋がり、市民と行政が協働する意義は非常に大きいと考える。 そこで、公共施設里親制度の持続的な発展のため、活動を称える表彰制度等の導入が必要と考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
3	高木 寛房	質問事項 市政運営の実績及び今後の市政方針について 質問要旨 1 ・これまでの市政運営の実績と、それをどう振り返るか。 ・これまでの実績で、今後市政をどのように進めるべきと考えるか。 答弁者 市長
4	古川 よし枝	質問事項 救急搬送における選定療養費の徴収について 質問要旨 1 県の救急搬送による選定療養費の徴収を開始して1年になる。選定療養費の徴収については賛否両論あるが、学校や保育所等の福祉施設等での選定療養費の徴収については除外すべきという声は多い。本議会では、本年6月に「学校施設や福祉施設等については柔軟な対応を検討することを求める」意見書を県に提出している。他の議会からも学校や保育所等の福祉施設等での選定療養費を徴収しないことを求める意見書等が提出されている。市執行部から県に要請している自治体もある。学校や保育所等で選定療養費の徴収があった場合、当分の間、自治体が負担をするところもある。本市においても、執行部から県に要請をし、市負担も検討すべきではないか、市の見解を伺う。 答弁者 市長・担当部長 質問事項 東海第二原子力発電所で災害が発生した場合の広域避難の受入れについて 質問要旨 2 東海第二原子力発電所で災害が発生した場合、協定により、原発から半径5キロ圏内の東海村住民約9,800人を、本市の避難施設に受け入れることになっている。東海村の避難計画は一人当たりの避難所面積の拡大やターミナル方式を導入するなど改定がされてきたが、受入れ体制等の具体的な情報が少ない。避難者を受け入れるための避難訓練をはじめ、受入れ計画の策定が必要ではないかと考える。市民への情報提供を含め、市の見解を伺う。 答弁者 市長・担当部長 質問事項 中学校の部活動の現状について 質問要旨 3 中学校の部活動は、教員の働き方改革、子どもたちに過度な競争を生まない、成長に合わせた活動時間やスポーツの専門的指導が必要になっていることから、部活動の地域移行（地域展開）が進んでいる。練習時間の短縮や教員の負担軽減などの厳しい調整もあるように聞き及んでいるが、現状はどうかか伺う。 ・地域展開が行われている部活動・移行による子どもたちの様子について。 ・保護者への情報提供等、周知は十分に行われているか。 ・スポーツ以外の部活動での改革の取組や今後の方針と課題についてはどうか。 答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
5	吉田 稔之	質問事項 西ノ台地区における街頭防犯カメラの設置拡充並びに家庭における防犯対策への支援について
		質問要旨 今年8月1日未明に、西ノ台地区において、6件立て続けに住宅侵入窃盗事件が発生した。また、同月17日～19日にかけて、住宅に置いていたタイヤが盗まれる窃盗事件が発生した。そこで、安心安全な生活のためにも、街頭防犯カメラの設置拡充が必要であると考えているが、市の考えを伺う。
		1 家庭における防犯対策として、防犯カメラや映像確認モニター、センサーライトなどの防犯機器等を設置することが有効である。これら防犯機器を購入する際の支援制度について、近隣自治体では上限額を設け事業化している。本市においても早急に事業化すべきと考えるが、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
6	中島 督仁	質問事項 インフラ50年問題への対応について
		質問要旨 全国的に見れば、道路や橋、トンネル、上下水道管などのインフラの多くは、高度経済成長期に整備され、2020年代後半には建設から50年以上経過する「インフラ50年問題」を迎えるが、この問題に関連する市内の公共インフラの状況を伺う。
		2 また、市内では老朽化した水道管の交換工事等が行われているが、対象となる公共インフラの老朽化の状況や、今後の改修計画について伺う。
		答弁者 担当部長
7	直井 高宏	質問事項 詐欺被害ゼロのまち・つくばみらいを目指して
		質問要旨 近年、投資詐欺や特殊詐欺など、巧妙な手口による詐欺被害が全国的に増加している。
		1 本市においても、市民が2, 220万円のSNS型投資詐欺事件の被害者となるなど深刻な状況である。市民の大切な財産と安心を守るため、本市として、詐欺被害防止対策や啓発活動、関係機関との連携を、どのように進めているのか伺う。
		答弁者 担当部長
8	伊藤 正実	質問事項 マイナンバーカードのさらなる活用と利便性向上について
		質問要旨 ・マイナンバーカードの保有率は総務省によると令和7年10月末時点で、人口の79. 9%となっている。また、マイナ保険証や自動車運転免許証との一体化や各種手続き等の活用が進みマイナンバーカードの利便性が向上していると考えているが、市の状況について伺う。
		1 ・本市におけるマイナンバーカード保有率を上げるための取組について伺う。 ・令和7年10月1日から全国一斉に開始されたマイナ救急について、本市の状況を伺う。 ・本市におけるマイナンバーカードを活用した住民サービスについて伺う。
		答弁者 担当部長
9	伊藤 正実	質問事項 独居の高齢者にやさしい施策について
		質問要旨 ・核家族化や配偶者との死別、未婚などにより、高齢者の単独世帯が増加している。また、単独世帯の高齢者の中には、家族や親族がいても疎遠になっている方が多くいると考えられる。このような身寄りのない高齢者が、入院手続きをする際に身元保証人がいない場合の対応について伺う。
		2 ・民間では、身元保証サービス(高齢者等終身サポート事業)を行っているが、金銭的な問題で利用できない方も多いと思われる。そのような方に、寄り添った施策が必要と思うが、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
10	伊藤 正実	質問事項 みらい平駅前整備について
		質問要旨 みらい平駅は、本市の表玄関ともいえる駅である。昨年も質問したが、みらい平駅前について、「根本的に見直しの検討をする」との答弁があり、駅前の道路等の構造変更やタイルの修繕等の計画を進めるとのことで、令和7年度も調査費が予算化された。
		1 みらい平駅前整備について、現状どうなっているのか。今後のスケジュール、課題などを含めて市の考えを伺う。
		答弁者 市長
11	伊藤 正実	質問事項 友好都市の交流の現状と課題について
		質問要旨 本市ではこれまで、伊奈町、香取市、フィリピン国カルカル市、台湾桃園市と友好都市協定を締結している。また、「伊奈町、川口市、つくばみらい市『伊奈氏ゆかりの地』歴史・文化的交流に関する協定」を、伊奈町、川口市と締結している。
		2 現状において、それぞれの友好都市とは、どのような交流が進んでいるのか。また、その効果についてはいかがか。さらに、稚内市とは本市が誇る偉人「間宮林蔵先生」とのご縁で、これまで草の根的に交流が続いている。今後、稚内市との友好都市協定の締結を見据えた取組等、市の考えを伺う。
		答弁者 市長
12	伊藤 正実	質問事項 子どもの靴や衣服(古着)のサブスクリプション事業について
		質問要旨 足立区で始まった子どもの靴のサブスク事業について、本市も子どもが多く住んでいることから、同様の事業を導入、推進すべきと考えるが、市の考えを伺う。また、靴だけにとどまらず、衣服(古着)のサブスク事業も導入、推進すべきと考えるが、市の考えを伺う。
		3
		答弁者 市長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
9	本間 真由美	質問事項 家庭で不要になった園芸土の循環利用について 質問要旨 ・コロナ禍を機にガーデニングの人气が高まり、幅広い年代の市民が趣味を通じて育てる花や野菜が地域に彩りをもたらしている。しかし一方で、不要になった園芸土の処分に困っているという声もある。家庭ごみ分別の手引きによると、土については購入店や廃棄物処理専門業者、または市へ相談することになっている。そこで、土の適正な処分方法について、市民に対しどのように案内を行っているのか伺う。また、市や購入店等に対する相談について、実態把握を行っているのか伺う。 ・園芸土を資源として捉え、市が不要になった園芸土を回収し、公園の緑化事業・学校の花壇など公共の場で再利用することで、園芸土の循環利用が可能になると思うが、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 児童の発達支援について 質問要旨 ・現在、本市では、こども発達支援事業により、就学前までの児童の発達支援を行っている。近年、支援が必要な児童が増加傾向にあるが、発達支援に対して、市の考えと今後の計画について伺う。 ・こども発達支援事業では、年齢や成長に合わせて、集団と個別それぞれ月に1回から2回の支援が行われている。近隣自治体と比較すると、支援回数が少ないと思うが、市の見解を伺う。 ・本年4月に、株式会社サシノベルテと事業連携協定を締結したことにより、市の発達支援が、どのように向上されるのか伺う。
10	岡本 昌弘	質問事項 英検の検定料助成制度の導入について 質問要旨 ・本市では、英語によるコミュニケーション能力の育成を掲げ、幼児教育から中学校まで英語教育を推進している。グローバル人材の育成事業について、進捗状況と今後の方針を伺う。 ・児童・生徒が英語力を試す機会として、英検の受験は有効である。しかし、英検の受験は任意であり、検定料も保護者負担であるため、保護者負担の軽減及び英語教育を推進するため、検定料の助成制度を導入すべきと考えるが、市の見解を伺う。
		答弁者 教育長
		質問事項 新しい認知症観について 質問要旨 令和5年に認知症基本法が成立し、認知症の方を含めた国民一人ひとりが共に支え合いながら共生する社会の実現を目指すことになった。 そこで、次の3点について、市の見解を伺う。 ・新しい認知症観の普及・啓発について ・本人中心の居場所づくり・社会参加の推進について ・認知症バリアフリーのまちづくりについて
11	マクキム 洋子	質問事項 特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」の対応について、市内での繁殖状況について 質問要旨 ナガエツルノゲイトウは、史上最悪の特定外来生物と呼ばれ、強い繁殖力があり、県南地域でも確認されている。そこで、次の2点について、市の見解を伺う。 ・本市での目撃情報・通報等の事例について ・発見された場合の連絡体制、管理者への指示、周知等、具体的な対処方法について
		答弁者 担当部長
		質問事項 災害時のペット同行避難について 質問要旨 現在、犬猫をペットとして飼育している割合は、約5世帯に1世帯と言われ、ペットは身近で家族同様、大切な存在となっている。 災害時にも、ペットと一緒に避難することを希望する方が増えており、環境省でもペット同行避難を推奨している。そこで、避難所での混乱やトラブルを防ぎ、衛生的かつ円滑な受入れ態勢の整備を図るため、市独自のガイドラインの作成が必要と考える。 また、飼い主の備えや対策も必要であるが、災害時にペット同行避難ができるように、市は正確な情報を発信していく必要があると思う。 そこで、本市におけるペット同行避難の普及啓発等、市の考えを伺う。
12	マクキム 洋子	答弁者 担当部長
		質問事項 災害時協力井戸登録制度の普及について 質問要旨 災害の発生により、ライフラインが寸断され、断水による深刻な水不足が発生した場合、井戸水は応急用の生活用水として有効な代替水源となる。 本市においても、平成31年4月から、災害時協力井戸登録制度を開始しているが、現在の登録状況や普及に向けた取組について伺う。
		答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
12	中山 治	質問事項 学校関連施設の環境について
		質問要旨 1・児童生徒の健康にも配慮した快適な学校生活を実現するために、耐震化、老朽化対策、バリアフリー化、さらには環境の変化等による対応が求められている。また、本市でも、学校施設の耐震整備計画に基づき、耐震整備を進めていると認識しているが、その整備の現状と今後の計画を伺う。 ・避難所について、各学校施設が避難所を開設する際、簡易トイレの設置やプライバシーに配慮するなど、より良い環境の整備に努めていると思うが、現状及び今後の取組を伺う。 ・陽光台小学校施設について、ジャロジー形式の窓に網戸が無い、または作動しないなど、設備に不具合が生じているとの声を聞くが、現状と今後の改善策について伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 各学校の太陽光発電設備の利活用状況について
13	飯村 裕一	質問要旨 2・電気代が高騰している昨今、国も県も自然エネルギーの活用を推進するなど、太陽光発電設備に対する期待が高まっている。そこで、各学校の太陽光発電設備の整備状況を伺う。 また、今後、太陽光発電設備の利活用をどのように考えているのか伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 「小1の壁」について
		質問要旨 1・近年、子育て世代の多くが共働き世帯となっており、仕事と子育ての両立が難しくなる「小1の壁」が社会問題となっている。この問題に対し、各自治体が様々な対策を講じているが、本市の取組状況を伺う。 また、「小1の壁」は、学校運営上の問題だけでなく、子育て上の問題もあると考えるが、今後の取組等について、市の見解を伺う。
13	飯村 裕一	答弁者 担当部長
		質問事項 地域連携公共ライドシェアについて
		質問要旨 2・現在、交通空白地における住民や来訪者の移動手段の確保を目的に、今年1月からつくば市、土浦市、下妻市、牛久市が連携して、地域連携公共ライドシェアの運用を開始している。本市でも様々な地域間の移動手段を確保しているが、新しい取組として本市でも地域連携公共ライドシェアを検討し、地域の移動手段を補うべきと考えるがいかがか。 ・本市においても、自治体として単独で交通空白地の解消に向けて取り組む場合には課題も多く、実現は困難な可能性がある。そこで、近隣市との連携も含めた広域的な取組も検討すべきと考えるがいかがか。
		答弁者 担当部長

通告議員13人 質問25問